# THE WOMAN'S WEEKLY

毎週金曜日發行

第貳巻　第六號

# 婦人週報

（大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正五年二月四日発行）

主要目次

◎自給して勉強せんとする人々…小橋三四子
□國民的音樂（久留島武彦）　□齒科醫の妻
◎婦人の感化なき今の男子　津田梅子
□受驗する子供の爲めに……麻生永子
◎女學生の經費調べ
□オハナシ「牢屋の天女」（綾羽）　□子供の智恵
◎ユーゴーの母（翠子）◎佐藤靜子論
□滋養物とは何ぞ（斬雲）　□齒と腦（富田ドクトル）
◎小說「何處へゆく」……松本雲舟

定価一部四銭五厘
郵送料五厘

婦人週報社



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ


# 日本女子大學校 生徒募集

東京小石川

■家政學部■英文學部■教育學部

●右各學部本科豫科 ●教育學部卒業生は家事科中等教員無試驗檢定の特典有（家政科第一部、第二部）

■高等女學校 一年級及各級補缺

■小學校 男女

■幼稚園 男女

●願書期日三月廿五日 ●入學試驗四月四日より ●規則は二錢郵券送付あれ

# 英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり
又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に敎授す
家庭的寄宿舍の設けあり
ピアノ個人敎授の需めに應ず

本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

英語專門私立 櫻井女塾

# 新女界

第八巻 第二號

二月號

■南支那の動亂 吉野作造
■異常兒童の敎養 三田谷啓
■朝鮮の女子敎育に就て 松本雅太郎
■敎育上に於ける母親の責任 中村春二

□新しき愛 海老名彈正
□醒めよ若き婦人 長井長義
□眞に强き人 安井哲子
□批難の多い日本婦人 志立たき子
□現時生活の混亂狀態（二） 海老名みや子

■母の遺言 廣田花崖
■感激せる露西亞の少年 渡邊白鷹
■イスラエルと其豫言者 西田天行
■短歌 野口精子

定價壹部貳拾錢半年卆二錢一年一圓卌錢

東京小石川林町新人社 振替一四〇〇五

入社御望の方は婦人週報社にて御取次も致します

# 安心して買物が出來る（東京市及び市附近郡部に限る）

我購買組合共榮社は米を始め凡ての食料品丼に多數の日用品を品質精選の上多量纏めて割安に仕入れるので之を普通の店より安價に本組合員に分配致します營利に傾かぬのが本社の特色とする處で尙多少の利益を剩す場合には其剩餘金は我組合員の購買高に應じて割戻の方法もあります御用聞も配達も隔日參上致させます

本組合現在員數一千五百餘名（御望みの方には組合員名簿一部進呈）主に中流以上の御家庭が多い◎婦人週報愛讀者にして入社御望みの方には本社最近の成績報告書、組合員名簿、最近物價表等特に進呈致しますからハガキなり御電話なりで御申越下さい尙御不審の點は社員をして御說明申し上げます◎責任を明かにする爲め左に本社員の名を列記しました

◉役員

理事長 伊澤良立
理事 岡本利兵衛
理事 足立莊
監事 倉知誠夫
理事 船尾榮太郎
理事 高津次盛
理事 加納與四郎

◉評議員

井上敏夫　岩崎一　村井貞之助　岩本逃太郎
原田虎太郎　波多野承五郎　堀井卯之助　太田黑重五郎
和田豐治　子爵加納久宜　鎌田榮吉　門野重九郎
加藤木重敎　門野幾之進　津田興二　男爵長松篤棐
內田直三　久米頁作　松尾淸次郎　青木大三郎
坂田實　菊地武德　北川禮弼　由井彥太郎
日比翁助　平尾信壽　鈴木梅四郎　竹村頁貞
村上定　武知直道

東京京橋區新富町一丁目八番地

有限責任購買組合 共榮社

電話京橋（二一七〇番）（二二〇五番）




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 目次

自給して勉强せんとする人々……小橋三四子
一人一評――佐藤靜子……冬湖學人
婦人の感化無き今の男子……津田梅子
婦人の聲――蚊聲口を大きくせよ……
女學生の經費調べ……
極く切り詰めて……佐藤任天
標準額は何程＝高等女學校ならば＝女子專門學校ならば
良人の學費を稼ぎて成功させたる齒科醫の妻……久留島武彦
國民的音樂の缺乏……澤田斬霞
滋養物とは何ぞ……
受驗する子供の爲めに……麻生永子
齒と腦……ドクトル 公田貞一
オハナシ――牢屋の天女……綾羽
子供の智惠――分り切った事を聞く、紙鳶をあげながら
短歌＝平行線……安中花子
世界名女傳＝ユーゴーの母……翠子
全評「何處へゆく」(六)……松本雲舟
新刊紹介・女性中心說――幼時の精神査定及幼兒取扱法――婦人之友――婦女界
時事――女學校だより――個人消息……
編輯室より……

# 自給しながら勉强せんとする人々

小橋三四子

### △青年の無謀な上京

この頃男女の學生が遙々手紙を寄せ、或は態々遠隔の地から上京して、働きながら勉强したいと相談される方が澤山にあります。其の向上しやうとする志は愛すべきも、これは誠に世の中を知らぬ危險な事であると思はれます。幸に確かな處に行當つて相談すればよろしうございますが、萬一善からぬ人に身上を委かせて、どんな誤りが起らぬとも限りませぬ。これは地方の父兄や教育家の、昨今殊に注意して、青年の無謀の上京を充分に取締つて戴き度いと思ふ所でございます。

### △自給の困難

もとより青雲の志を抱いて、空しく草深き田舍に埋もれんとする青年の心情には、限り無き同情が注がれますが、自給しながら勉强しやうとするには、二倍の能力と體力とを費さなければならないので、餘程の秀才でも往々不成績に終ります。昔新井白石が、赤貧の間にあり、大望を抱いて居つた時に、或る人が「利氣、氣根、黄金の三こん無くしては、學匠には成り難し」と申して、その三こんの中黄金の一つを缺けるを惜しんだと申しますが、日に月に生存競爭の劇しくなり増る今日は、一層黄金の缺乏は、學匠になる道に障害を與へる事の多いのは、止むを得ませぬ。幸に晝間よい働きがあつたとしても、夜の時間を與へてくれるには、その晝間は夜の分をも兼ねて働らくやうにしなければ、忽ちにしてその仕事を奪はれて終ひます。

### △彼れ等の渇仰の的

これ迄の自給して居る人々を見ると、夜は炭屋や薪屋に奉公して居りながら、何々大學の政治科、法律家に通ふといふのが多いのです。政治や法律が若い人々にはいかにも華やかな渇仰の的となり易いからでもありませうが、いざ成業した曉を考へて見れば、いかにも慘めなもので、十圓十五圓でやう／＼口を求めて事務員に雇はる丶位のものであります。中途にして精力の盡きた者が、往々筆耕



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でもして、もつと晝間閑散な職業を求めたいとよく申しますが、それは金の成る木を求めると同様であります。

△「凡てを負ふ勿れ」

また一方では、秀才を認めて特志家が資を投じて勉學をさせてくれるといふ事も間々ありますが、いざ獨立といふ時には、その受けた恩惠に隨分束縛され、終には餘儀なくその恩人に敵視されるやうな破目に陷る人が少くはありません。昔の賢人も「他人に愛を負ふ外は凡てを負ふ勿れ」と申しましたのは、誠に眞理であります。

△着實に導かれたい

さればとて靑年の大望を空しく挫くのではありません。この人々に學匠になる斗りが人間の勉めではないと云ふ事をよく知らせて、たとへ中學を卒業した者でも新屋なり、炭屋なり、小僧に成り下つて奉公するとすれば、その業を大成するといふ方針を取る事が、一番得策であると思ひます。もし夜間幸に勉强の暇ありとすれば、商業に必要な簿記なり、或はその業に關しての智識を養ふことなりに心掛けたら、必ず經驗と相俟つて、その學識の更らに役立つ折があらうと思はれます。これが成功にかけて迂遠なるが如くして、最も捷徑であると思はれます。どうか世に父兄や教育者は、靑年をかやうな着實の方面に導くやう平常の教育に於て心掛けられたいものであると存じます。

# 時事週評

▲羅馬法王の特使來　羅馬法王の特使ペトレリー大司教は本月二日萬里平安に上京されました。御即位奉祝のために遙々來航されましたのですが、歐洲平和回復に對して日本の意向を探るためとも傳へられてゐます。羅馬法王と申すと、日本にはいかにも緣遠い感じがいたしますが豊臣德川時代の天主教の日本殉教者は今でも法王廳に於て年々記念祭を施行されてゐると聽きます。新日本は羅馬法王を知ると極めて淺いけれども、舊日本は羅馬法王に知られると最も深いのであります。サヴイエーが傳道した信長秀吉時代の日本の事を想ふと、今昔の感に堪へません。新來の法王の特使が其の先人の傳道した舊日本に對して懷舊の想を馳すると同時に、新日本を理解する事深からんことを望みます。

二

▲政界の風雲小康　山形公の上京に依つて政府と貴族院の險惡な間柄も幾分緩和されるだらうと豫測されます。大隈首相もほつと一息つける次第ですが、一人の山縣公が日本の政界に對して生殺與奪の權を持つてゐるといふのは、いかにも不思議な現象でせう。一體生殺與奪の權といふものは、或る個人がこれを有すべきものではありません。正義と眞理の在る所にさういふ權利が存すべきではないでせうか。日本の政界が個人的勢力に依つて支配される時代は早く脫却したいものです。

▲雪を見ず　昨年末から今年へかけての暖かさに、東京地方はまだ雪を見ませんが、作物のためにはあまり善い事ではありますまい。冬は冬らしく、もつと寒い方が、心持の快いものです。けれども病人や子供などには、この暖かさが適しませう。皆さんと御家族の健康を祈る。


Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 一人一評

## 佐藤靜子

一

かの婦人達が教育社會に於ける功績を錄して叙勳の恩命に接した時に、その名前の中に佐藤靜子を見出した名高い政治家は、今更のやうに『……佐藤靜子とは？』と打案じてをつた。

それ丈け佐藤夫人は虚名には缺ける處があるかも知れぬ。が、この『佐藤靜子』をも女流教育家の中に加へて叙勳の恩命に浴せしめたのは機宜に適つたもので、更に興味のあるのは、佐藤夫人が女流教育家として虚名が多く知れなかつた爲に最も立入つて云へば、その虚名を利用して學校經營に取掛つたものでない丈けに、女子美術學校は幸であつた、或は佐藤式とか、靜子流とか云ふやうな型に嵌められることなく、自由の發達が出來たからである。

二

あの上品な、善い奧樣の佐藤靜子が我が國には珍しい女子美術學校長であつたのも珍しい。が、この夫人の血は名高い佐藤尚中に享けてをることを知り、佐藤家の我が國の文化に盡した功績を思へば決して淑德の高い――保守的の奧樣としか見えぬ靜子夫人が女流美術家の養成所を開たのは不似合でない。佐藤家の道樂としても、實に善い道樂と云ふべきである

然るに佐藤夫人の女子美術學校に臨む態度に對しては、多少の異論がなかつたでもない、その幹事達に任する處が深かつたと云へば夫迄である。而して何事にも佐藤夫人が校長と云ふよりは、不斷に男爵佐藤進の令夫人と云ふ地位を忘れないのは、徹底的でもあり、冷淡とも考へられたらう。が、この傍觀者のやうな態度が却つて女子美術學校のやうな處には適しいものであつたかも知れぬ。が、その結果は幹事達の專橫となり、失態となるを免れぬ。殊に此の種の學校に於いては勢ひさう云ふことゝなるのである。

三

遠かに傳へられた女子美術學校の紛擾も、漸く解決し、正木直彥氏が校長代理として、今後の刷新を圖ることになつた。この事から考へても、決して佐藤家は女子美術學校に對する方針を一變させるやうなことなく、佐藤夫人は依然として從來の態度を棄ないであらう。而して此の特色のある女流美術家の養成所からいろ〳〵の異彩ある婦人達を出だすこと、思ふ

佐藤家――男爵佐藤進君の順天堂病院が杏林の權威で、その家族中に七人の博士を出し、家附の靜子夫人が女流教育家として叙勳の恩命に接した時には、流石に佐藤家にのみ春風が訪れたのではないかとさへ思はれて、世にも人にも羨れたものである。が、その頃に佐藤夫人の主宰する學校の紛擾が暴露したなどは、天公も亦惡戲をしたもので、月に村雲とでも云ふべきであらう。

併し此の『紛擾』と云ふ雨に依つて、旣に地は固くなつたらしいので、女子美術學校の前途は洋々たるものであり、佐藤家萬歲でもあり、光榮の伴ふ叙勳の恩命を辱かしめない譯である。（冬湖學人）

三



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 婦人の感化なき今の男子

女子英學塾長　津田梅子

△血の海の最中

婦人問題も單に女の社會を見て批評する丈けならやさしうございますが、目ざす彼方の岸邊に着かうと拔手を切つて泳ぐ私共にとつては、丁度血の海の最中に居るやうなもので、前を見れば渺々として、いつ憩ひの水濱に着くか分りませぬが、更らに振り返へつて、後ろに戻つても同じく苦しい道行きをせねばなりません。同じく骨を折るなら、前へ〳〵と進んで參るのが自然でございませう。

△なほ乳が必要

女の境遇に就き種々な批評を並べ立てるのは、不平がましくもあり、また第三者にとつて、何の益も無いことでございます。批評と同時に、弱い者の手を取つて、一歩宛でも先きに歩ませる工夫を考へたいものです。實際今日の一般婦人や、若い女學生達ちは、丁度ボーロがコリントで「われ爾曹に乳を哺しめて、堅き物を予ざりき。爾曹食ふこと能はざればなり」と申した如くに、堅き肉を消化するよりも、乳で育つて行くことがまだ必要ではありますまいか。

△男子の品行問題

私が今日頻りに考へて居りますことは、男學生の品行問題であります。新らしい教育を受けた娘さん達が、縁付いては、もう妾と一緒に住むやうな事は無からうと思つて居りましたが、今の日本の家庭は、なか〳〵さうではありませぬ。生活に苦しまぬ多くの家庭の奥さん方は夫の不品行の爲めに、どれ丈け苦しめられて居るか分りませぬ。それが強ち妻の不行屆からといふ譯ではなく、男子自身大に反省して、改めていたゞかなければならぬ處があると思はれます。高等女學校には、夫に對する務、家に對する義務などを充分に教へますが、之れに反して中學以上の男子の學校で、妻や家に對する教養を與へて居りませうか。私は餘り聞いた事がございません。實際今日の男子方は、凡て婦人や家に對する考へを養ふ折が殆ど皆無と申してもよろしいと思ひます。

△婦人に對する教養

母親も小學時代迄は、其の教育に腐心致しますが、中學、大學と進めば、わが手に合はぬものと拋棄して終ひますし、子供の方でも相手に致しませぬ。歐米の家庭なら、母が男兒に對しては、先づ自分を尊敬させるやうに仕込みます。母に何か渡す時には必ず帽子を取らせるとか音樂會やベースボールの競技にも、母は務めて子供に同伴するとか云ふやうに、家にても、娯樂の際にも、母によつて教養される事が多いので、理窟ではなしに女に對する高尙な趣味が養はれ、從つて禮儀も正しく、品性も高まつて參るのです。彼方の社會では成人の後婦人の交際社會に入れない男子は、大層損をするので、母親は如何なる婦人の中に入れても恥かしからぬ丈けの教養を與へやうと務



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

めて居ります。

△男子の寄宿舎改良

今日日本の男子教育家は、其の品行問題に就いてどんな取調べをし、また之れに如何なる取締りを與へて居るか、いつか伺つて見たいと思ひますが、私の考へでは男子の寄宿舎が兵營的でなく、もつと婦人の感化があつて欲しいと思ひます。若い婦人ではいけませぬが、母らしい高尚な婦人が、共にあつて、衣食の世話をし、また娯樂にも共に加はるといふやうにしたら、如何でせう。もう我が國にも教育のある母らしい婦人も求めたら無いことはなからうと思ひます。私が明治十八年に歸朝して、當時宮内大臣の伊藤博文氏が、慈惠醫院の爲めに初めて慈善方を開くといふので、貴婦人方が相談會に出られましたが、皆一言ものをお仰らないのを見て、餘程奇體に思ひましたが、今日の婦人會等に出て見ますと隨分御意見を盛んにお述べになる方も多くなつたので、いつも私は今昔の感に打たれます。かうして見れば、もう男子の教育に當るやうな婦人も無いことはございますまい。

△小學教員にも不適當か

此の間女子大學に開かれた婦人問題研究會に出ますと、澤柳博士は日本の小學教員がどうしても男子の教員に及ばないと云ふ事を申されましたが、それは何の原因か調らべて見たいと思ひます。勇氣の無い爲めか、もしくは體力の充分で無い爲めか、とにかく私は中學教育にも婦人の感化を加へたいと考へて居りますのに現在の狀態が日本の婦人は小學教員としても充分な成績を擧げることが出來ないとすれば、それは大に考へて、婦人の進歩を計らなければなりませぬ。澤柳博士も婦人の現在が小學教員として男子に劣つて居ると申されたので、更らに婦人が開發され進歩した曉迄もとは申されなかつたと思ひます。

△興味多き今日の社會

今日の日本の社會程興味ある處はなからうと思ひます。婦人に對しても女大學式の考へを持つた方と、また歐米の最も進歩した考へを持つた方と、何百年かの間の思想が、一つ時間の上に動いて居るのでございます。これは確かに急劇に發達しつゝあるといふことを語るもので、何れの説にも一理あるのでありますから、どうか人々が互に思想の自由を許し合ひ、取るべきは取り、捨つべきは捨てゝ進んで行きたいものだと存じます。

## 婦人の聲

### □蝦蟇口を大きくせよ

呉羽

五六十年前の女の持つたお金入れは、今のに比べますと非常に大きうございます。今の女のお金入れが小さくなつたと云う事におながらお金が昔より小さくなつたばかりではなく、帯や胸の格好をよく見せやうとするみえから起つた事でせうと思ひます。今の女持の蝦蟇口は誠に小さく作られてあつて、銅貨なら廿錢とにはいりません。いそがしく買物なして歩く時にお釣錢にさつた銀貨と銅貨となど區別して銀貨は蝦蟇口に銅貨は財布にと別々に入れるわけにはゆきませんし、財布と云ふものはしめくゝりも惡るし、出しいれに不便です。私は手持の中でも殊に大きい四寸に二寸位の蝦蟇口を使つて見ました。懐に入れるのにすこし苦しうございますが、帯の間にいれるには少しも不便でもなければ苦しくもありません。これですと大部お金がはいりますし銅貨を入れても口のこわれるやうな事はありませんで大層便利です。帯の間から出すと商店の小僧などには、丸い眼をして見られますが、不自由にはかへられません。私は大きい蝦蟇口をおつかひになる事を御婦人方におすゝめ申します。

五



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 女學生の經費調べ

東都に遊學さするには何程の費用を要するか

## 極く切り詰めて

佐藤任天

### △一ケ月に要する額

女學生の一ケ月の學資と申しても、高等女學校程度と專門學校程度とでは多少違ひますが、今日では一ケ月十五圓位で濟ますのは餘程つましい方です。學校所設の寄宿舍でも個人經營の塾舍でも一ケ月の寄宿費は食費七圓舍費二圓位なのが普通です。之が九圓、授業料やら校費やらでザット三圓、お小遣が三圓と見て、合せて十五圓になります。此の三圓のお小遣で郵稅、文房具、お化粧の費用、交際費、おきまりの寫眞道樂、雜誌の購讀までもすますことは決して樂なことではないのです。

### △米一石では間に合はぬ

若し學校に割烹科があれば夫れに材料費がかゝります。之は高女程度でも五十錢、高い程度になると二三圓もかゝります。其の外裁縫其他の材料費もかゝる、電車で通學すると五十回劵丈けですますとしても二圓、段々餘暇が少くなると洗濯を賴んだり、洗ひ張りを賴んだりすることにもなるし、一寸親類とか先輩を訪問するにも男子の樣にブッキラボーに兩手をぶら下げて行く譯にも行かず、偶には手土產の一つも持つて行きたいのがやさしい娘心と云ふものでせう。それに敎科書（高女程度では一年に四圓は入ります）參考書も必要だし、春秋の遠足にも若干の入費を要します。サア斯う數へて見ると廿圓の學資では決して樂ではないのです。お百姓が米一石を作るのは大變なさわぎですが女學生一ケ月の費用を辨ずるにはお米一石では間に合はぬことになります。

六

### △苦學の決心

心の紐をキリヽとしめて、「貸間あり」の札をあさつて、いぶせき四疊半の一間を借りて自炊をしても、室代に二圓、煮豆佃煮のお副食物で事を足らすとしても、薪炭電燈を入れて五圓ですますには餘程の無理を忍ばねばなりますまい。敎科書は借りてすまし、電車には一切乘らぬとしても授業料の三圓と、お小遣の三圓はきりつめる譯には行かず、如斯衛生上の危險を冒す苦學生活にも十二圓は入ることになります。朋友二人の共同自炊をしても、これ以下に切りつめる事は一寸困難でせう。

### △私の預つて居る娘

此の時代の娘にはまだ經濟上の思想は十分に發達しないでゐて、而も見え外聞を氣にする心は十二分にある。友達からお揃のリボンを掛けませう、一しよに活動寫眞を見に行きませうといはれてもお金がないからと斷ることも出來ず、ツイ



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

無駄なお金を使ふものです。ですから無制限にお金を渡して置けば無際限に入るのです。月額を定められてゐても平均に使ふ事が出來ず、月初め丈けは景氣がよくとも月末になると、電車賃やお湯錢にも忽ち差支へを起すことは決して稀ではないのです。私は現に高等女學校の五年級になるのを一人預つてゐます。今までに苦い經驗をなめさせられた私は、前以て本人に決して直接に金を送らぬといふ條件の下に預り、毎月十五圓宛私の手許まで送らせ、必要に應じて支辨してゐますが、何うにか角うにかやつてゐます。時には公園なり郊外なり、又時たまには活動寫眞位には連れて行き、郷里の弟妹達へ繪葉紙の一冊位は送らせてゐますが、此の兒私の宅へ來るまでには親類の家にゐて廿五圓乃至三十圓も掛かつてゐたそうです。

# 標準額は何程

## 各女學校の費用調査の概略

編輯局に於て、一校の學費標準を知る爲めに、各學校から經費の大要を集りまして、之れを高等女學校、專門學校の二つに分けて、調査した結果は左の通りであります。

### ▲高等女學校ならば

#### △學費一ケ年の額

多數ある都下の高等女學校中、先づ府立第一の學費を調べますと其第一學年生の一ケ年間の學費は金五十五圓九十三錢となり、府立第三は金五十四圓八十錢となつて居ります。第一の内譯は

教科用書五・八七。裁縫用具〇・六六。圖引用具繪具皿筆洗小刀筆入墨池等〇・九六。辨當箱〇・三五。袴四・〇〇。靴一・五〇。靴下二・〇〇。靴修理費一・五〇。式服四・五〇。風呂敷及褥〇・二五。習字用筆〇・三六。習畫用筆〇・四〇。筆記用筆〇・一〇。ペン軸、先〇・四〇。鉛筆〇・二五。墨〇・二〇。インキ〇・三〇。繪具〇・二〇。字消ゴム木炭吸取紙〇・二二。數學用紙〇・三〇。洋罫紙〇・三六。五線紙〇・一二。習字、作文其他用紙一・七三。雜記帳〇・七〇。授業料二七・五〇。校友會費一・二〇。

と云ふ斷定です。此内靴代一ケ年一圓五十錢は少々不足と思はれます。府立第三の調べでは靴上下及修繕費靴墨等で一ケ年八圓五十錢を計上して居りますが、普通此位は要るものと見なければなりませぬ。府立第二の調べも全體に於て大差はありませぬ。

#### △一ケ月四五圓の間

右の標準額を一ケ月平均(但し暑中休暇の八月は除き十一ケ月に平分)すると金五圓十錢弱となります。其處に多少の餘裕を見た處で一ケ月五圓五十錢内外の學費を要する次第です。以上は府立の高女ですが、私立でも大差はないと思はれます。即ち私立高女の書籍代は大抵四圓止りで、府立に比し二圓位少額ですが、丁度其位は入學料として學校へ納めねばなりませぬ。けれども私立の或るものは式服(四圓五十錢)靴代(五圓)は生徒の隨意にして居りますから用ひぬ事とし、袴(四圓)は在來のもので間に合はせるとすれば玆に十三圓五十錢を節減し得る事となります。(靴の代りに下駄草履を要し袴も年に一着は必要とすれば、此節約勘定は事實上無意味ですが)之を月に割當てると一圓二十錢程となり、前記一ケ月の學費五圓十錢乃至五圓五十錢から差引くと三圓九十錢乃至四圓三十錢となります。即ち四圓内外で授業料會費書籍費文房具費等を支辨し得るものと見る事が出來ます。

#### △拾五圓乃至拾八圓

市内の家庭から通學するものは生活費





Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を別として月四圓乃至五圓の學費で足る事は前述の通りですが、地方から通學する女學生は此外、下宿費小遣錢等を見積らねばなりません。私立高女の寄宿舍では舍費月金一圓、食費金七圓五十錢乃至八圓、合計金九圓内外、櫻井女塾の如き私塾に入ると間代食費電燈代等一切で十圓乃至十二圓位。親類知友の家庭、即ち素人下宿でも、十圓内外の世話料を拂はねばなりません。小遣錢は交際の少ない初年級時代には二圓乃至三圓あれば何うにかやつて行ける事と思はれます。要するに學費四圓乃至五圓、下宿費十圓内外、小遣錢二圓乃至三圓、即ち一ヶ月の遊學費は十五圓乃至十八圓を標準額と見られます。進級するにつれて書籍代（參考書も買はねばならぬ）學用品等の費用も增額され交際も廣なつて小遣錢も嵩みますから月額一二圓の增加は免がれませぬ

## ▼女子專門學校ならば

### △一ヶ月廿圓内外

高等女學校を卒業された方が、東京の女子專門學校（女子高等師範、女子大學校、津田英學塾、青山女學院、共立女子職業、女子美術、和洋裁縫、女子醫學專門等）へ遊學される場合は何程の經費を要するかを調べて見ますと、先づ女子大學校の寮生が普通一ヶ月に要する費用は被服費臨時費等を除き、且つ書籍は成可く圖書館等で見て間に合せるといたしても、一ヶ月金十九圓三十八錢を要します。

△其内譯は

| | |
|---|---|
| 授業料及校費 | 三、五〇〇 |
| 實習費（實驗實習料理） | 二、五〇〇 |
| 演習費（琴、ピアノ等） | 〇、九〇〇 |
| 會費（級ゞ費縣人會費其他） | 〇、一五〇 |
| 食料及寮費 | 八、五〇〇 |
| 書籍費 | 一、九〇〇 |
| 文具費（雜記帳、インク、鉛筆、紙、ペン先等） | 〇、三五〇 |
| 雜費（内譯、通信廿五錢、下駄、足袋等五十錢、洗濯代十錢、電車代十八錢、石鹸、紙、洗粉等五十五錢） | 一、五八〇 |

合計金十九圓三十八錢

となるのであります。實際は書籍費も文房具費も雜費も、此計算を超過するものと見なければなりませぬが、先づ月額廿圓内外を以て專門學校生の遊學費標準額と見て差支ありませぬ。裁縫學校職業學校等では材料費月二三圓位宛要りますが同時に書籍費其他に於て同額位の減少を見ますから結局大差なきものと思はれます。若し電車にて通學するならば此外電車代月金二圓を見積らねばなりません。之は高等女學校へ通學する者も同事です

うらゝか

森作湖仙女史筆



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 良人の學資を稼ぎて

## 成功させたる齒科醫の妻

△米子さんの過去の働

女は力なきもの虚弱なものと男の腕にのみ頼りかゝつてゐられたのは過去の事、今や女もまた男と共に――男を助けて、生存競爭の逆卷く渦中に飛込まなければならぬ時勢とはなつた。生活苦を味ふものは獨り男のみではない、女も其の一半を負ひ擔つて立たねばならぬ世の中である。――牛込市ケ谷柳町廿一番地に酒井齒科醫院と云ふのがある。主人は麟三郎(三六)と云ひ、妻君は米子(三三)と言はれる。良人を助けて今日に至らしめた米子さんの過去の働きには、か弱い女から脱した女の強い力を伺ふ事が出來る。

△認められぬ結婚

今から十年前、女子大學の國文科を卒業した米子さんは、間もなく鐵道院の事務員となられた。それから兩三年後――其處に什麼物語があつたか知らぬけれど――坂尾米子さんは、當時尚ほ日本齒科醫學校の生徒であつた酒井麟三郎氏と結婚された。二人は駿河臺のさる商家の二階を樂しいホームとして、良人は學びの道に、米子さんはお勤めに、何不自由なき生活を樂んでゐた。けれども其間はさう長くはなかつた。新婚の夢より醒めよとばかり、最初に投げつけられたものは、久留米市なる麟三郎氏の兄君から、二人の結婚を認めないと云ふ報知であつた。

△遂に其糧道を斷たる

其時以來麟三郎氏の學費は兄君から斷たれて終つた。何故兄君は二人の結婚を認めなかつたか。兄君が學費を出して麟三郎氏を遊學させるについては、當時より久留米市に開業醫をしてゐた兄君は、麟三郎氏が齒科醫の免狀を得て歸鄉された曉に、兄弟して一病院を建設しやうと云ふ目的があつた。然るに南北數百里離れたる山形縣の人米子さんと麟三郎氏との結婚は、此目的を破壞するものであると思はれたので、其結婚を認めぬばかりか、終に其糧道を斷つに至つたのであつた。

△彼女の健氣な決心

流石に此報知は新夫妻を驚かし惱ませた、けれども米子さんは唯歎いてばかりはゐなかつた。その悲報を手にした瞬間から、健氣な決心が彼女の心身を刺戟した。『御心配なく御勉强なすつて……』恁う夫を勵ました米子さんは、以前に倍して役所に精勤し、夫を劬勞つてゐた。

△愛兒を母方へ

かゝる間にも時は兩人に最初の女兒を與へた。良人に似た娘はおとなしく可愛い、赤兒であつた。けれども米子さんの意志の力は、涙と共に此愛兒を山形なる米子さんの母方へ送つた。其うちに夫君は學校を卒業されて二回目の試驗に開業醫の免狀を得られたけれども、開業する迄には尚幾多の困難が橫はつてゐた。其れを切拔けて今日に至るまでには米子さんの不撓な精神が雄々しく働いてゐたのである。今は三人の子の母として全く家庭の人となつた米子さんは、以前にも增した榮えある日を送つてゐられる。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 國民的音樂の缺乏

## 團扇や杓子で心の歡喜を表す

久留島武彦

### △過る千載一遇の大典にも

我が國には國民的の感情を表はすべき樂器及び歌の無いと云ふ事は豫ねてから遺憾に思はれて居た事ですが昨年の即位式に於て一層痛切に感ぜられました。國家としても亦國民としても、千載一遇の大典であつて、衷心から歡喜に滿たされて居る其の心情を、何かに依つて表はし度いと等しく悶きましたが、全く發表の方法がありませんでした。纔に其の心地が漏らされたと思つたのは、京都の片山春子が都踊の舞に由基主基の田植踊と、自分獨特の振りとを調和させたものと、安藝の「天地のむた極みなき」の唱歌に、舞の手をつけた二人立の舞と、備後の白丁委に町長が歌を作つて振り付けたもの、外には、何もありませんでした。そして此等の舞が國民全體の喜びを表象することが不可能であつたと云ふ事は、勿論の事でした。

### △樂器に代ゆる團扇や杓子

又大勢の團體が踊り立つて出た行列の調子を、助ける爲めに用ふる樂器も殆どありませんでした。我が國在來の三味線は到底團體的國家的感情を表はす事は出來ません。もつと強い、大きい美しい樂器を欲しいと思ひます。適當な樂器を持たない國民は如何なる音によつて心から流れ出づる喜びを滿足させたでせうか。京都では扇子或は團扇を掌で打ちながら「ゑらいこつちや萬歳、ゑらいこつちや萬歳」と云つて市中を練り歩いたのでした。馬關では杓子二本を敲き合せて「ガチヤガチヤ〳〵」と云ふ音をさせて其の喜びの幾分かを表はして居ります。

### △一日も早く改良したい

これに依つて見ましても、國民的樂器及び歌の無い事が、如何に其の表現の上に不便であり、苦しい事であるかが明かに見出されるであらうと思ひます。で私は是非我が國家庭の音樂から改良して、國民的國家的の音樂を作り出し、かゝる場合に老幼男女が聲を揃へて、遺憾なく歡喜の情を發表する事の出來るやうに一日も早くなる事を希望して居りをす。

### □兩陛下と皇太子殿下の御年齡記憶法

□先帝陛下の御年が、何時も十六の菊の御紋の十六と明治の年號とを合せたものであつたのと同じ如うに今上天皇陛下の御年は「今上天皇陛下」と云ふ文字（但し陛は陛とし）の字劃三十三に大正の年數を加算すればよい。即ち三十三に大正五年の五を加ふれば三十八と云ふ陛下の御年が出るのでございます。皇后陛下の御年も、矢張り「皇后陛下」と云ふ文字の字劃二十八に大正の年數を加算する、即ち今年は二十八に五を加ふれば三十三歳に渡らせらるゝ事が直ぐ解るのでございます。更に皇太子殿下の御年を知るには、「今上天皇陛下」の字劃三十三の三分の一―十一に大正の年數を加ふれば宜しいのです。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 滋養物とは何ぞ

薄田斬雲

△人間は獅子にあらず

肉は滋養物で、菜葉は滋養物でないと言へやうか、分析したら肉は蛋白質が多く菜葉には少ない、だから滋養分が菜葉に少ないと云ふのは下宿屋の御馳走では身體が持てないと考へる書生養生論です。馬や牛は青草や豆を食つて立派に健康を保つて居ます。獅子や、虎になる爲めには、生肉を食ふ必要もありませうが、馬や牛になるには牛肉を食ふ要はないでせう、扨て人間は、獅子になるでもなく、牛馬になるでもなく、猿になるでもなく飽迄人間で居るには、主として穀類を食ふに限る事と思ひます。其證據には誰人でも、副食物を多く食はずに、飯を多く、成る丈けお菜を少く食ふた時は、胃の具合が一番好いでせう。お菜を多く貪ぼり食ふた時は胃がごた〳〵した樣ないやな氣持です。唯た獨逸丸呑みの醫學が横行して、人間は肉さへ食へば達者になる、顏が肉色になると云ふ誤られたる養生憲法が日本を風靡したから、我々はお蔭で滋養物中毒と云ふ馬鹿な目を見る事になつたのです。其證據には

△鷄卵の中毒

と云ふ飛んでもない現象が生じたと云ふ次第です、鷄卵中毒と云ふのは私の新發明ではないのですが、昨今專ら唱へらるゝのです。夫れは何かと云ふに、毎日一個づゝの鷄卵を何年となく續けて食ふと、人間の筋肉は硬直して彈力がなく、いやに干枯らびた顏になると云ふ事で、玉子になるべき生物を餘り取つて食ふからの罰です。牛乳とても其通り、牛乳でも飲んだら、些しは丈夫になるかと云ふ樣な虚弱な人間の胃には、牛乳は餘り適しないものです。つまり牛乳は胃へ入つて一旦凝固し更らに消化作用を受けて吸收されるので、胃病者特に溜飲者には大の禁物です、吐きさへせずと胃に收まれば夫れで結構營養になつた樣に思ふのは大間違で徒らに胃腸を苦めて碌に血にも肉にもならず便秘を起して不快なる排泄物となる丈けです。私は此頃穀食主義です。

△皮や骨を食へ

或る説には魚を食ふにしても大きな魚の身ばかり食ふ事はせずに小魚を骨ごと皮ごと食へと云ふのです。皮や骨にも人體に必要、缺くべからざるものが含まれ居るから、鯵や鰯のたゝきを團子に煮て食へと云ふのです。之は玄米を食ひ、根菜類を皮ごと煮て食ふ主義と關聯して確かに理由ある事と思ひます。のみならず小魚を骨皮共に食ふのは身ばかり食ふよりはズッと善味いものです。私は鳥の肉で、田舍式にやる骨ごとの叩きの方が何となく善味へあると思ひます。此奇妙な料理を食つて大變善味いから、何んで作つたのかと問ふと、田舍の料理法で生鮭の頭を叩いて團子にして煮たのです。生鮭の身を煮て食ふよりはズッと善味いのです。精が身になる、之が滋養物の哲學です。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 中學に受驗する子供の爲めに

正藏氏夫人　麻生永子

△一大變化の時機

小學校から中學校又は女學校へ入學すると申しますことは、今迄比較的暢氣にして居た子供に取つては、大變な重みである と同時に、又一方には俄かに大人らしくなつたといふ喜びを感ぜさせる時でありまして、此の時分は中々子供の精神上にも變化を見、又發達も認められるのです。ですから時としては私共が考へて居りません意外の方面に、子供の知識が發達して居るやうな事を見出しますこともありますが、やはり家庭に於ても相當の注意を要しますことは勿論です。

△試驗を恐れさせぬやう

近頃は小學校でも中等學校へ入學すべき兒童に對しては、特別に主要な學科に就ては豫備敎育を授けて、細かく注意を與へて下さいますから、家庭に於ては今迄のやうに、常に子供に附き切りに附いて居て、あれこれと八ケ間敷く注意することよりも、成る可く啓發的に自分からやると云ふ事の方に重きを置き、これを少しづゝ導いて子供の能力に無駄をさせないやうに注意する事の方が、効果が表はれはしないかと存じて居ります。幼い腦へ餘りに深く試驗と申しますやうな觀念を刻みつけますことは、精神上にも亦體育上にも、面白くない影響を與へる事がありますから、出來る限り暢氣に心配させない樣に前から準備させて行く事が肝要です。

△充分な運動と睡眠

も一つは體育上の注意ですが、小供は割合に勉强の爲めに多くの時間を費しまして、稍もしますと運動する時間が少なくなる傾きがありますから、努めて屋外の運動を奬勵致します事と、睡眠を充分に取らせて腦をよく休ませる事が大切です。食物も子供の體格によりまして、多少氣を付けてやります方が宜敷いと思ひます。幸ひ宅の子供は健康なものですから、特別の滋養物を取らせる事も平常は致しませんが、それでも試驗の時には玉子とか、强壯劑を用ひますとかして幾分か注意するやうにして居ります。

△試驗場に入つての注意

入學試驗を受けさせます前子供に注意して置きます事は、試驗場に這入りましたらば、落ちついてよく腦を統一させてから答案を書き、尙ほ讀み直して出すといふことゝ、字を奇麗に讀みやすく書く事と、文章を簡單にする事などで、前から少し心掛けて注意してやりますと否とは、子供が試驗場に出ました時に大層な相違があるやうです。その外愈々試驗の時には一日位ひ前からよく頭を休ませて勉强などご强いないやうに致す方がよろしう御坐います。當日には、筆とか鉛筆とか申しますやうな細かいものを、忘れないやうに氣をつけて持せてやる事も必要でせう。




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 齒と腦

## 斯くの如く關係あり

ドクトル　富田貞一

### △北米小學校の實驗

北米合衆國オハヨー洲クリーブランド市のマリソンと云ふ小學校に於て、齒牙と腦との關係を檢べ樣として、齒科醫會の幹部連中と教育側の關係者が集つてやる事になり、八百四十六人の兒童の口腔を齒科醫と其助手とで檢査したら、僅か三人が完全な口腔であつた。他は悉く齒牙が缺損し、又は殘根ばかり、已に永久齒の一二本を失ひ、或は咬合が不正のものばかりであつた。其中で一番劣等なもの四十人を四年生から八年生までの間に選びました。

### △其の養生法

そこで其の四十の兒童の兩親によく相談の上、協力して効をあげんとしました。第一に齒牙を完全なる狀態にするやう、無論治療費もなしで齒科醫が治療に從事し、かつ齒磨粉、齒楊子も只で與へ、日々三度は必ず楊子で磨き、食物はよく咀嚼せねばならぬ事を嚴命した。然し精査するには永き月日がかゝる事だから其間に是等兒童が飽きて言ひつけられた事を嚴守しない者ができやうとの心配から特に正直に命令を守つて實行するものには、クリスマスの祝御ひとして五弗（日本金十圓)を各々與へる事に約しました。斯うして齒科醫は治療をはじめ、間には齒楊子をもつて橫磨きにせずして上下をこすり、內面も外面も同樣に齒牙と齒牙との間にある糟類は糸を挿んでこすり取る樣に實行させました。そうして心理學者の泰斗ドクター、ウオリン氏が是等兒童の記憶、理解力の遲速、判斷力の强弱等を試驗するやう六つの方法により二樣は齒牙の治療をせない最初のまゝで二樣は齒牙を治療し完全な口腔とした後で、今二樣は完全の口腔となつてから一年後でやつた。其試驗の方法はいつも同じ方法で少しも變つた事はないのです。

### △一年後の成績

かくして最後まで續けた者は二十七人ありましたが、丁度一ケ年後の成績が改良されて、平均九九・八プロセントを示しました。是等二十七人は精神上大なる影響をうけ、克己心が强くなり、遊惰にかち、服從心に富んで、身體上の發達は大したものになりました。其中一女兒の如きは四四四プロセント、今一人は一〇一プロセントの驚くべき發達をなし、六人は三十八週間の學課を三十四週間でやりこげ、一人は二ケ年の學課を一ケ年でやりとげたのです。尙一人は常に病的の者が全然健康體となり、全部の者が誠にはつきりした眼となり、薔薇色の頰となり口元のしまつた心地よげなものに變りました。これ等の實驗的の調査でよく齒牙と腦とは密接な關係がある事がわかります。

## □家庭小言

晃南生

筆一本と身體一貫とを以て、七人の家族を養ひ來たれる人なり、元旦趨賀せる時、其意氣天下を呑むの慨ありしが、一と月過ぎたる此頃其病めるを聞きて見舞ひけるに甚だしく瘦せ衰へたる双頬を病床に埋めて述懐すらく『余罹病氣の床にざる事茲に十有五年、今突として、其見舞ひを受け、殆んど度合の輕重をも量る能はず、生活に對する不安を感ずる事また甚し。さるにても今の世に健康を唯一の資本として生けるもの、末路はまた斯の如からざるを得ざるなり』と。之れ平常不時の災厄に備へん事を承知しつゝ、尙ほ能はざる現代中流人士の悲痛なる叫なり。





Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 牢屋の天女

綾羽

昔天女は、よく下界に飛んで來ました。天女の背中には羽衣がついて居ました。羽衣と云ふのは丁度鶴の羽根のやうなもので出來て居る翼のやうなものです。羽衣を持つて居る天女達は自由に何處へでも飛んで行かれました。天の上の花園にも地の上の湖にも自由に飛んで行く事が出來ました。

お天氣のいゝ或る日、大勢の天女達は青い空を、白い羽衣をならべて飛びまはつて居ました。その時下界を見ますと松が深山に生えた砂の白い美しい土地が海の中に突き出て居る處が見えました。

「まあ彼處にいゝ景色の處があります。おりて遊ばうぢやありませんか」と一人の天女が云ひました。その美しい景色の處といふのは三保の松原でした。天女達は皆そこに下りて羽衣を松の木にかけて海の中をおよいで遊びました。大勢の天女は夕方になると天に歸りましたが、その中の一人の天女はあんまり海の中で遊びすぎて海岸に上つた頃にはお友達の天女達はもう天に歸つたあとで、おまけに松の木にかけておいた羽衣は漁師にとられてしまふ。どうする事も出來なくつて、三保の松原の人間になつてしまひました。

天の女王樣は此の事をおきゝになつて大變お怒りになりました。「お前達に羽衣をやつておくと、こんな間違ひがおこるから、もう羽衣をあげておく事は出來ない。かへしておしまひなさい。」と女王樣はおつしやつて天女達の背中について居る羽衣をとりあげておしまひになりました。そして天女達を天の牢屋にとぢこめて「もう外に出る事はならない。」とおつしやいました。天の牢屋は四方八方鐵の壁でこまかれてをりました。眞中に眠藥のはいつた一つの壺があるばかりで、その外には何にも置かれてありませんでした。「あゝ羽衣がほしい。羽衣をつけてもう一度下界に下つて遊びたい。」と天女達は云ひくらしました。

すると或る時牢屋の外で聲がきこえました。その聲は大きな破鐘のやうな聲で「壁を破つて出ろ、羽衣をあげやう。」と云ひました。天女達はをどりあがつて喜びました。そして聲のする方に行きましたが、鐵で作られた牢屋の壁は固く厚くつてどうする事も出來ませんでした。

「今に壁が破れる時が來るだらう。それ迄待ちませう。」と一人の天女が云ひました。すると外でまた聲がしました。「出ておいで、出ておいで。出てくれば羽衣をあげやうぞ。」と外の聲はいひました。「あゝ煩い。あんな事を云はれるとなほ羽衣がほしくなる。あんな聲のきこえないやうに眠藥をのんで寢ませう。」と天女の一人は云ひました。その中で一番小さな天女は「たとへ下界におちてもいゝ。こんな牢の中に居るよりは下界におちてもいゝから此の壁をたゝき破つて出やう。」と云ひました。

「私達の樣なよわい女の力であの鐵の壁が破れるものですか。それよりは眠つて居る方がいゝ。」と他の天女達は云つて



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寢てしまひました。小さい天女は一生懸命で鐵の壁をたゝいて居りました。白い手から血が流れました。それでも小さい天女は壁をたゝいて居ました。

處がまあ不思議ではありませんか。すこしたゝいて居るうちに壁はお豆腐のやうに柔かくなつて、その中から大きな手が出て小さい天女を牢の外に引出してくれました。そうすると壁はまたもとのやうに固く厚い鐵の壁になつてしまひました。他の天女達はそんな事を知らずに寢て居ます。外に出た天女はどうしたでせう。中で眠つて居る天女は眼がさめてどう思ふでせうか。

## □狆のホテル通ひ

日比谷の帝國ホテルに、毎日狆がちこ、ちこんと車に乘つては通つて來ます。何に來るのかとよく〳〵尋ねて見ますと、これはさる西洋人の愛犬で、ホテル滯在中の食事に馴れて、家のものを一向食べないので、主人も困つて終ひ、さてこそかうしてホテル通ひをさせるのだそうです。一ヶ月の食料は十五圓との事です。

# 子供の智慧

## □分り切つた事を聞く

ゑみちやんは七つになつて小學校の入學試驗に參りました。先生が「あなたのお名は？」と尋ねると默つて居ります。「お幾つ？」とまた尋ねても默つて居ります。かうしてお答へしなかつたゑみちやんは不常賢こ過ぎる程なのに、遂に試驗に落第しました。お母さんに問答の際一言もゑみちやんが答へなかつたと聞かれて「何故お答へしなかつたの」と申しますと「だつて先生は分り切つた事を尋ねるんですもの」と不平顏で申しました。

## □紙鳶を揚げ乍ら

正雄さん（八つ）はお庭で一心に紙鳶を揚げて居りますが、力に合はない程大きいので、なか〳〵骨が折れます。暫らくすると母さんの所に走つて來て、「神樣にお願ひする事は何でも聞いて下さるでせうか」——「ええ、事によつたら聞いて下さいます——」と申しました。すると再び出て紙鳶の糸を掴みながら、お祈りをしますと、またどうしたはづみか、工合のよい風が吹いて來て、ずつと高く紙鳶が上りました。正雄さんは息をはづませて、再び母さんの處に來て「母さん、ほんとに神樣は私達の遊びの間にも助けて下さいます」と、その目は涙に潤んで居りました。

# 平行線

安中花子

我が胸に歌となみだの涸れぬ間は斯くても行きまし悲しき宿世。

寂しさはいつの日までも二筋の平行線なたどらん我等。

年ふれば聞きおぼえけり僞りの涙などいふよしなし言も。

後世など、夢のやうなる言の葉もわかれてあれば頼もしくして。

生きてあらばまた逢ふ日もと其の日よりいつくしまれぬる我が命かな。

思ひ切り花を摘めども唱へどもこのつゆ程の事のしうれさ。

横町の父の無き子も下駄はきて遊びに出づる祭日なにごこ

思ふ子に得逢ふまじきと知りつゝも大路行く日にしづ心なし。

世をすべてうつろに思ふかな久遠の法は耳にひゞけど。

うつし世の總べてにそむき逆らひてかの束の間のゆめにすがれる。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界名女傳

# ユーゴーの母（上）

十六

△弱かりしユーゴーの幼時

ヴイクトル、ユーゴーは佛蘭西に生れた天才で、世界の大思想家であつた。此偉人を育てた母はどんな人であつたらうユーゴーの生れたのは千八百二年であつた。生れ落ちた時は身體の丈は一尺に足りないし、手も足も極小さくて成人の見込みはつかなからうかと危ぶまれた。十五ケ月の間、頭もぶら／＼であつた。之を介抱して成人させたのは全く母の力であつた。ユーゴーの父は軍人で戰爭にばかり行つて居たので、ユーゴーは母の手一つで育てられた。

△林檎と母の嚴命

大分成長なつた時分後庭に枝一ぱいに實つた大きな林檎の木があつた。母はユーゴーとその二兄に「決して林檎を取つてはいけない」と云つけた。不平なユーゴーが「もし落ちて來たらどうしませう」と尋ねると「落てもそのまゝおゝきなさい」と云つた「腐つたらば？」「腐つても」と嚴しく命せられたので、林檎は庭の上にぼた／＼落て來て皆腐つてしまつた。

△可愛い惡戯

隣の家に天文學者のテラントが住んでゐた。家と家との間に垣がないので、テラントが、ユーゴー等に勉强の妨げをせられては叶はないと思つて、大工に垣を結ばせやうとした。其時ユーゴーの母が之を止めて「それなら御心配に及びませんよく云ひきかせておきましたから決して御邪魔は致しません」と云つたので垣は作られなかつた。そして天文學者の庭には小さな靴あと一つも見えなかつた。それでもユーゴーも時々は子供なみの惡戯をした、そして幾度もズボンを破つたりするので、母が今度ズボンを破つたら騎兵の服を着せると云つて叱つた。二三日の後、ユーゴーは學校へ行きがけに一隊の騎兵が美しい軍服をつけて通過するのに出逢つた、乳母に「あれは何と云ふ兵隊さん？」と尋ねて「あれは騎兵で御座います」と云ふ答を得た。ユーゴーは家へ歸ると直に默つて庭へ出た。母がそつとのぞいて見ると木の蔭で一生懸命になつてズボンを引き裂いて居るのであつた「何をして居るの？」と母が叱りつけると「お母さん騎兵の服を着せて下さい」と云つた。

△子等の教育に心を碎く

ユーゴーは小さい時から大變に鋭敏で求知心の旺盛なのは其天性であつた、五歲にならない中から讀書をしたりした。其後父の後からスペインへ行く事になつたので、母はユーゴーとその兄とに三ケ月をかけてスペイン語を習はせやうとしたのに、ユーゴーは六週間で自由に之を使用する事が出來た。スペインから歸つて來てからユーゴー兄弟は大きな庭園のある靜な家に移り住んだ。母は彼等の敎育に心を碎いた。學識の深い天主敎の僧侶を聘して勉强させた。德育の方は身を以て其任に當つた。その健康をも心配して學課の余暇に庭掃除をさせたり、室內の壁張りをさせたりした。それから文學だけでは生活の道の立たない事もあらうかと懸念して、手工を敎へたり大工わざを習はせたりした。ユーゴーは學校の成績はなんでも良かつた。數學は殊にお得意であつたが、一番好きなのはやはり詩であつた。母はその天才を認めてひたすら之を獎勵した。（翠子）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全譯 何處へゆく（六）

松本雲舟

訪問の二

屈强の黒奴が駕を擔つて、路に出かけた。露拂ひの奴隷が先に立つてゆく。暫らくペトロニウスは口を緘んで、馬鞭草の香ひのする兩手を鼻にあてゝ、何にか考へ込んでゐたが、やがて恁う言つた。

「その森の妖女が奴隷でないにしても、ブラウチウスの家を棄てさせて、お前さんの家に連れて來ることはさまで六ケ敷くは思へんがな。その女を戀で圍んで黄金の雨をその上に降らすのだな。私があの清いクリソテミスにしたやうにな。私共二人は滿足してゐるぢやらう。クリソテミスと一緒に居るといかにも愉快なや」

マルクスは不承知の樣に頭を振つた。

「どうしてぢや」とペトロニウスが問ねた。「他に仕やうもない時には、皇帝のところへゆくさ。私の勢力を用ゐずとも、赤髯はお前さんに味方するに相違ない」

「あなたはリジャを御存じないのです」とヴィニチウスが答へた。

「それならお前さんは、その女を見たばかりでなく、もつとよく知つてゐるといふのか。一緒に話したとでもあるのか。戀を語つたのか」

「噴水の側で初めて見ましてから、二度リジャに遇ひました。ですが、アウルスの家に居る間、私は客のために造つた離屋に居りましたのでな、手の骨を違へてゐるので、家族の食卓に出かけるとも出來なかつたでさ。唯私が出立する前の夜晩餐の席でリジャを見ましたが、一言も語を交すとも出來ませんでした。ブラウチウスがブリテンで戰に勝つた話を聽されたり、それから伊太利の小領地の失敗、つまりリキユウス●ストロが今もやつてゐるやうな事は駄目だといふやうな議論を聽されたりしました。實際ブラウチウスには他に話す事がないのでせう。大に時代の柔弱を嘆ずるのでさ。鳥小屋で雉を飼つてゐても、それを喰はないのは、雉を食ふ毎に、羅馬の權力が次第に衰へてゆくと信じられてゐるのですてな。リジャに二度目に遇つたのは、庭の池の側でした。手に葦を持つて、その先を水に漬して打ち振るものですから、虹が出來るのです。さうすると、この私の膝が、バーシャ人が突貫して來た時にでも震へなかつた奴が、その池の側でぶる〳〵しました。頸に護符をつけてゐる少年のやうに狼狽へて、私の眼はぼんやりしました。口を利くことも出來ないのです」

ペトロニウスは羨しさうな表情をして、ヴィニチウスを眺めてゐたが、「仕合せ者だ。この世と人生がどれほど辛くとも、唯一つ永久に美しいのは、青春ぢや」恁う言つて、ヴィニチウスに向ひ「それでお前さんは話しをしなかつたのか」

「いや、さうぢやありません、少し氣が落ち着いてから、私は亞細亞からの歸途で、市の門外で手を挫いたのでしたが、もうこの愉快な家を去る時が參りまし





Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。此の屋根の下で苦しんでゐるのは、玆から別れてゆくよりもどんなに樂しいか解りません。玆で病氣でゐた方が、丈夫になつて出てゆくよりも、どんなに嬉しいでせうと言つてやりました。さうするとリジャは當惑して、首を垂れて筆でもつて黃い砂になにか記してゐました。やがて眼を上げましたが、またその記した線を眺めて、なにか問ねたげでしたが突然驅け出しました。森の女神が愚かな半人半羊から逃れるやうに――

「その女は美しい眼を持つてゐるのかい

「湖のやうに、實際湖のやうに私はその眼に溺れてしまひました。多島海でもリジャの眼のやうに青くはありません。暫くするとブラウチウスの小さい男の兒が走つて來て、私に何にか問ねるのでしたが、私はぼんやりしてゐて、何の用か解りませんでした」

「成程な」とペトロニウスは叫んだ。「青年の眼から、戀の女神が結へつけた紐を取つたら、ヴイナスの神殿の柱で頭を碎くだらうな」

恁う言つてヴイニチウスに向ひ、

「生命の樹の花の蕾よ、葡萄園の最初の綠の芽生よ。お前さんをブラウチウスの家に連れてゆくよりは、人生を何にも知らぬ青年の學校であるゲロチウスの家へお前さんを連れてゆかせやうかな」

「どうしてゞすか」

「それはさうと、砂に何にを書いたのぢや、戀の女神の名か、それとも戀の矢を刺された心か、それとも、半人半羊が森の妖女の耳に囁いたやうな人生の秘密を語る類のものか。お前さんはその書いたものを吟味したらうな」

「私も初衣を着た時から、あなたが考へてゐなさるよりも、時を澤山經過してゐますので」とヴイニチウスが答へた。「少年アウルスが走つて來る前に、その書いたものを能く吟味しました。希臘羅馬の娘は口に言へない事を砂に書くものだと能く知つてゐましたので、それはさうさリジャが何にを書いたと思ひなさる」

「私が今言つたやうなものでなければ、解らんな」

「魚です」

「何んぢやと」

「魚です、脈管に流れる血が冷たいといふわけでもないでせう。私には解らん‥す。ですが、私のことを生命の樹の花の蕾と仰しやるあなたは、私よりも、この魚のしるしを說明なさることが出來ませう」

「さやう。プリニーに聽いて見るか。あの男は魚の事なら何んでも知つてゐる。老アピキウスが生きてゐたら、多分何んとか說明をつけてくれたらう。生きてゐる間に、ナポリの灣で捕れるよりも、もつと澤山魚を喰つたさうぢやからな」

## 十八

駕は雜沓せる街道に出たので、群衆の聲にそれ以上の談話は途切れた。アポリヌス區を通つて、ボアリウムに向ひ、そこから羅馬市場に出る。市場は市日のこととさて、日沒前には、遊惰の民に滿ちてゐた。圓柱の內にぶらついたり、無駄話をしたり、新しい出來事を語つたり、有名な人を乘せて通る駕を眺めたり、寶石商や本屋の店や兩換店や絹や青銅其他の雜貨を賣る店先をひやかしたりしてゐた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

## 新刊紹介

●幼兒の精神査定及幼兒取扱法（ドクトル三田谷啓氏述）　昨年八月フレーベル會主催の夏期講習會に於ける講演筆記を纏めたるものにして、健康兒の精神及び精神異常兒童に就て說き、智力檢査及び哺育法、哺育衞生に就て、極めて分り易く述べられたるを以て、敎育者は勿論父母たる方の一讀に値す。（正價八十錢、本郷湯島切通坂町八南江堂書店）

●女性中心說（堺利彥氏解說）　米國の社會學者レスター、ウオード氏の創見にかゝる女性中心說を解說したものなり。後日更らに詳しく批評する折あるべし。（正價七十五錢本郷區元町二丁目牧民社）

●迷信禍福號（婦人之友二月號）　羽仁もと子氏の「迷信と禍福」は此問題を論じて徹底し、三宅博士の「婦人解放の誤解」また有益に、色々の迷信から得る禍の實例もとり／＼に考へさせられる所があります。研究的にして實益ある記事の多いのに大體の特徵です（定價金十八錢郵稅一錢五厘東京雜司ケ谷婦人之友社發行）

●婦女界二月號　家庭に於ける慈父の價値（鳩山春子）嫁引女は何故中流以上の家庭に多いか（棚橋絢子）家庭迷信の掃除法（井上圓了）等主婦の讀物として實益ある記事の外に、精神的方面の記事の多いのが特徵です。（定價金十五錢郵稅一錢五厘牛込區加賀町一婦女界社發行）

## 時事

●羅馬法王使節來朝　羅馬法王使節ペトレリー大司敎は去月卅一日神戶に到着二日午前八時四十分東京驛着、帝國ホテルに入れり。天皇陛下には三日使節を御謁見、使節は法王の親書を捧呈せり。

●東久邇宮妃御慶事　東久邇宮稔彥王妃聰子內親王殿下には目下御姙娠四ケ月に渡らせらるゝ由にて六月頃御分娩の御豫定なりと承る。

●二權典侍　聖上陛下の御側御用を承はる爲め清水谷伯爵長女英子(二一)千種子爵長女梁子(二九)兩孃に今回權典侍を仰付られたり。

●澄宮殿下御用掛　大阪私立回生病院看護婦長木澤愛子(四九)は澄宮殿下御用掛の御內命を拜し居りし處去月廿七日出仕仰付られたり。

●百馬力の新發動機　東京砲兵工廠にては曩に七十馬力の飛行機用發動機製作に成功したるが其後苦心の結果更に約一ケ年に亘り研究して、百馬力發動機略完成したれば、近く實地試驗を行ふべしと云ふが、我飛行界の進步に貢獻する所大なるべし。

●出超六百五十萬圓　一月下旬の我對外貿易は輸出二千八百三十萬三千圓輸入二千百七十二萬二千圓にして差引六百五十八萬一千圓の輸出超過を示せり。

## 女學校だより

△學習院女學部　先年火災後移轉地選定中なりしが今回愈々青山練兵場の一隅なる地所二千坪を同校敷地に充つべしと決定せり。

△女子美術學校　卒業後第一回の校友會を去月二十五日午後三時より同校內に開催し長谷川吉文氏に校長佐藤靜子夫人に代りて事件の內容及び其の處理を說明し午後六時散會せりと。尚同校附屬高等女學校は佐 高等女學校と改稱出願中の由

△女子英學塾　二日の水曜を始めとし、今後毎水曜日午後三時より高野重三氏を聘して婦人問題の講話を生徒一同に聞かしむる由。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

## 個人消息

▲徳川綾子（家達公令嬢十九歳）は去月廿八日松平康荘侯令嗣康昌氏（二十四）と華燭の典を擧げさせらる。

▲島村兌子（文學士島村孝三氏令妹二十七）は法學士五來欣造氏（四十一）と去月廿九日結婚せられたり。

▲羽中田爲野（女子大學講師）令弟病氣の爲め近日甲州に歸郷せらるべしと。

▲ガンドレット恒子（熊本高等學校教授夫人）過般來上京中の處、兩三日中に歸郷の途に就かるべしと。

●宮崎光子　豫言者を以て自任する宮崎虎之助氏夫人光子女史は、去月廿九日朝小石川區原町二八神生教壇にて逝去せり享年三十二。

## 編輯室より

▲本號には女學生の學費について書きました。一々諸學校からの報告に基いて調査しましたものですから、定めし先づ標準額と見て差支へないと存じます。▲挿繪「うらゝか」は森作湖仙女史が特に本誌の爲めに畫かれたものです。女史は名畫に妙を得て居られ、なほ孝行な畫家として畫家仲間に尊敬されてゐる事は皆様御存じの事と思ひます。前號の挿畫村岡應東畫伯の月瀬所見も同じく特に本誌に寄せられたもので、あの畫題に「月瀬耕賞老郎」と云ふのでした。茲に兩氏の御厚志を感謝いたします。

# 人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に悩める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用を要する御相談は實費を申受けます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の據證調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依頼者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

# 人事相談所

●婦人週報定價（毎週金曜發行）

| | |
|---|---|
| 壹部 | 金五錢（但し郵送料五厘を含む） |
| 一月 | 金貳拾錢（四部又は五部） |
| 三月 | 金六拾錢（十三部） |
| 半年 | 金壹圓拾錢（廿六部） |
| 一年 | 金貳圓貳拾錢（五十二部） |

●本誌廣告料

| | |
|---|---|
| 特等（表紙の二、四） | 金參拾圓 |
| 壹等（表紙の三、白紙前付） | 金貳拾五圓 |
| 貳等（色紙の表側） | 金貳拾貳圓 |
| 參等（色紙の内側） | 金貳拾圓 |

### 注意

▲御註文は一切前金の事▲郵劵代用は必ず一割増の事▲送金の爲替宛名は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯人　小橋三四子
印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷合資會社東京支店
東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

院長診察月、水、木、金午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地（市ケ見附内）
電、番六二番
# 東洋内科醫院
院長 醫學士 高田畊安

電話ちがさき二番
# 南湖院
相州茅ケ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

# クリーニング
は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも新調同樣になります、殆んど新調す
和洋服
外套インバ 東コート
ネル・セル・シヨール
半襟毛皮 等のクリーニング
と染色を丁寧親切迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留塲際 電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
# 東京至誠病院
電話番町三三五七

◉呉服物なんでも
△市内は御報せ次第持參
△地方は御年頃と品物とお知せ頂き御送附仕候
△問屋より直接故必廉價
△利益の半額は矯風會の會計へ寄附の御約束濟
東京市四谷區愛住町四九
齋藤ふく

あかくはれ、くづれていたむのがすぐなほる
■しもやけの藥■
陸軍常用 石樟膏
毎年の大好評故是非御試しあれ
藥價 金十錢 送料 金二錢
（三錢郵券四枚封入申込あれば直ちに發送）
製造發賣 目白藥局
小石川區高田老松町十七番地
振替東京三一六九二

古本專門買入
小石川區大塚
御報參堂
# 山加書店

産科、婦人科、小兒科
女醫 井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

齒科
ドクトル 富田貞一
日本橋區高砂町六
（久松町停留塲より西一丁）
電話浪花五四〇五

眼科一般
診察時間毎日午前午後
入院設備アリ
# 吉野眼科院
小石川區高田豐川町
（女子大學校前）

◎小兒科
◎內科
小石川區高田老松町十二（細川侯邸前）
千葉醫學士 清水榮

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二月十日より
雛人形陳列會
片側帯陳列會
兒童用品展覽會
右開會仕候間御來觀
奉願上候

三越呉服店



# 最近の發明品

◎姿を美しくする帯上げ止め　定價三十錢ヨリ

生れつき姿の惡るい方でも帯を上手にしめろさ見違へろ様に恰好よくなります誠に婦人の姿は帯の形ち一つで御上品にも「しだら」なくもなりますが、さて帯を上手に締めろさ云ふ事も簡單の様で中々六ヶ敷事で十中の八九は「おたいこ」が「だぶ」ついて見苦ろしくなつて居ります之れはつまり帯上げが下がろからであります然ろに本品を御使用遊ばさばどんなにしても帯上げの下がろ事なく「おたいこ」の形ちも締めたまゝに「きちん」さなつて常に後ろ姿が美くしく保たれます、のみならず帯上げを高く背負ひ上げられますから一般に丈の低い日本婦人には帯から下が長く見えて肩、背中、帯の調和が誠によく姿が「ほつそり」見えます、又衛生上本品をお用になれば帯上げで胸を締めつけないでも済むから呼吸が自然で女子本來の呼吸（即ち胸式呼吸）を完全に營む事が出來ますつまり内臓（肺、心臓、胃等）の機能を十分に行ふ事が出來る理けであります、故に衛生上極めて理想的の品であります。

■販賣店■
三越呉服店
白木屋呉服店
松屋呉服店
松坂屋呉服店
大西白牡丹
小間物問屋 萬新商店
同 富士喜商店
本社代理部店



# 京都染物

御誂御好に應じ御古物染直しにても御新らしき品同様美麗にいたし候
**あらいはり、しみぬき、ゆのし、**
右之通迅速を旨とし精々入念廉價に調進可仕候間多少に拘らず御用向被仰付度偏に奉願上候
宮内省初め女子大學校の御用を承り居候

東京市本郷區湯島新花町八番地（靈雲寺門前）
井筒屋支店 中村榮次郎

御注文の節は御一報被下候へば早速御伺可申候　電話下谷五六七四




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA